



ソヴェト映画



ソヴェト映画

ソヴェト映画特集

開館30周年「都市と人間」展連携上映

惑星ソラリス

ストーリーカー

死者からの手紙

ミュージアム・ヴィンター



Солярис

Сталкер

Письма мёртвого человека

Посетитель музея

2.16 [土] 17 [日] 23 [土] 24 [日]

市民ミュージアム 川崎市



ソヴェエト映画特集

開館30周年「都市と人間」展連携上映

コレクション展「都市と人間」展の開催に連携して、ソヴェエト映画特集を開催します。名匠アンドレイ・タルコフスキーと彼に師事したコンスタンティン・ロプシャンスキーのソヴェエト時代の作品をとりあげ、地球の近未来都市のシーンに赤坂見附付近の立体高速道路の景色が映される『惑星ソラリス』や壊滅的に破壊された都市が印象的な『ミュージアム・ヴィジター』など、計4作品を上映します。



惑星ソラリス

Солярис
1972年/カラー/35mm/165分
監督:アンドレイ・タルコフスキー/出演:ナタリア・ボンダルチュク、ドナタス・パニオニス、ウラジスラフ・ドヴォルジュツキー
海に囲まれた惑星ソラリスの探査で混乱をきたしているステーションに、心理学者クリス・ケルヴィンは派遣される。彼はそこで自殺したはずの妻に出会う……。ソラリスの海は、人間の深層心理を実体化する知的生命体だったのだ。スタニスワフ・レムの小説に着想を得てタルコフスキーが独自に展開させたSF映画史に輝く金字塔。

2.17[日]13:30
2.24[日]10:30



ストーカー

Сталкер
1979年/カラー/35mm/163分
監督:アンドレイ・タルコフスキー/出演:アレクサンドル・カイダノフスキー、アナトリー・ソロニーツィン、ニコライ・グリニコ
願いを叶える〈部屋〉があると聞いた三人の男たちが、人が入ってはならない区域〈ゾーン〉を進んで〈部屋〉を目指す。〈ゾーン〉や〈部屋〉など寓意的なモチーフを残し、原作者のストルガツキー兄弟が自ら脚本を書きおろし、映画化。本作でタルコフスキーは美術も担当し、祖国で制作した最後の作品となった。

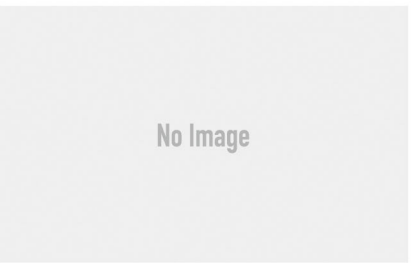
2.16[土]13:30
2.23[土]10:30



ミュージアム・ヴィジター

Посетитель музея
1989年/カラー/35mm/135分
監督:コンスタンティン・ロプシャンスキー/出演:ヴィクトル・ミハイロフ、ヴェラ・マヨラーヴァ、ヴァジム・ロバノフ
核戦争で破壊され、廃墟と化した地を一人の男が訪れる。彼は海底に深く沈んでしまい干潮時のみに現れ、壊滅前の文明が一部残っているという〈ミュージアム〉を求めてやってきたのだ。『死者からの手紙』に続く、ロプシャンスキー監督長編第2作。反ユートピアの世界が黒と赤の色調、電子音や轟音などのノイズと共に圧倒的な世界観で展開される。

2.16[土]10:30
2.24[日]14:00



死者からの手紙

Письма мёртвого человека
1986年/カラー/35mm/88分
監督:コンスタンティン・ロプシャンスキー/出演:ロラン・ブイコフ、イオシフ・リュクリン、ヴィクトル・ミハイロフ
世界は核戦争で壊滅し、生き延びた人間は博物館の地下シェルターでの生活を余儀なくされている。荒廃した世界を舞台に、科学技術の発展が招いた未曾有の破壊と汚染がもたらした極限状態の人間の生と信仰の在り方を問う。『ストーカー』(1979)で助監督を務めたロプシャンスキーのデビュー作。脚本にはボリス・ストルガツキーが参加している。

2.17[日]10:30
2.23[土]14:00

同時期開催

開館30周年「都市と人間」コレクション展 一都市×モニュメント×カタストロフィー

開館以来、市民ミュージアムは「都市と人間」を基本テーマとして数多くのコレクションを形成してきました。本展では、当館所蔵の博物・美術コレクションから、近代において幾度となく破壊されてきた都市の様相を紹介します。

会期|1月26日[土]～4月14日[日] 入場無料
会場|川崎市市民ミュージアム2F アートギャラリー 1・2・3
時間|9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)
休館日|月曜日(祝日・国民の休日の場合は開館し、翌日休館)

2.16 [土] 17 [日] 23 [土] 24 [日]

2.16[土]	10:30	13:30
ミュージアム・ヴィジター		ストーカー
2.17[日]	10:30	13:30
死者からの手紙		惑星ソラリス
2.23[土]	10:30	14:00
ストーカー		死者からの手紙★
2.24[日]	10:30	14:00
惑星ソラリス		ミュージアム・ヴィジター

※全作品35mmフィルムでの上映です。作品によっては、フィルムの経年劣化により映像・音声の状態が鮮明でない場合がございます。ご了承の上ご鑑賞いただきますようお願い申し上げます。

★ソヴェエト映画講座開催

日時:2月23日[土]『死者からの手紙』上映後
講師:井上徹(エイセンシュテイン・シネクラブ代表)

映像ホール(1F)
定員 270名(入替制・自由席・定員制)
※開場は15分前
(混雑状況により開場時刻が早まる場合があります)

入場料金/1作品につき
一般600円
65歳以上・大学生・高校生500円
小中学生400円
※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料
※65歳以上、大学生・高校生・中学生の方は、ご提示いただく場合がございますので、証明できるもの(原本)をお持ちください。

チケット販売時間/当日券のみ
10:00～12:00(午前・午後の2回分を販売)
13:00～15:00(午後の1回分を販売)
※各回定員に達し次第、販売終了